（　石井　通春　議員　３－２）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　令和　５年１１月１３日　　８時３０分受理 | 受付順位 | 　　２ |
| 発言順位 |  |
| **発　　言　　通　　告　　書**　　藤枝市議会議長　　山根　一様　　　　　　　　　　　　　　　　藤枝市議会議員　　　９番　石井通春　　　次のとおり通知します。 |
| 発言の種類 | 代表質問　　　一般質問　　　緊急質問 |
| ２：標　題 | なんのために、市内4つの道の駅か　　　　　　　　　　　答弁を求める者（　市　長　） |
| １：総事業費はいくらか①道の駅せとや　②道の駅かりやど、２：利用者数の見込について地形的利点として、富士山静岡空港、国一バイパス、新東名、など、陸海空に開けた広域アクセスが整備されている点を挙げているが、それによってどれだけの利用者数があると見込んでいるのか。３：北部地域の課題克服についてあらたに2か所新設する事によって、北部地域の課題、特に人口減少、少子高齢化の解決が図られるとしている。茶業や陶芸センター等観光施設、高田工業地区やバイパス4車線化などの要因があって、道の駅により高い効果が得られるとしているが、道の駅手法の中でどのような施設を作る事等で、この大きな難題が克服できるのか。４：地元説明について全体構想が発表されたのが令和3年でありながら、既に両箇所とも造成工事が始まっている。①このわずかな間で、道の駅せとやについて、市民に対して、どれだけの説明を行ってきたのか。②また、道の駅かりやどはどうか。５：地元理解について①地元住民の努力により長年黒字経営を続けてきた（ゆらく、ちょっくら）せとやについては、指定管理を公募によって行う点②かりやどについては、道の駅構想そのものについて、地元の理解はどれだけ得られているのか。６：採算性について（石井　通春　議員　３－３）両駅とも、民間事業者のノウハウによって採算性が維持できるという、使い古されたフレーズが語られているが、全国多くの道の駅が赤字経営で苦しむ中、ただ民間手法というだけで採算性が維持できるのか。①道の駅せとや　②道の駅かりやど |

（※　内容は詳細に記入してください。）